

令和5年度 創薬ベンチャーエコシステム強化事業／ベンチャーキャピタルの認定（第2回）  
よくある質問（FAQ）

No.	質問	回答（AMED）	掲載日
<b>1. 事業・公募概要</b>			
1-1	認定VCの公募は毎年行われますか。	次の公募予定に関しては現時点では未定ですが、今後も実施していく予定です。	2023年2月10日
1-2	認定期間終了後、「その案件に限り認定VCとして活動を継続できる」とありますが、新たな創薬ベンチャーの公募に応募可能でしょうか。	認定期間終了後に、新規に創薬ベンチャーの公募に応募する場合、改めて認定を取得し直す必要があります。	2023年2月10日
1-3	認定期間終了後の継続は可能ですか。	改めて公募に申請し、採択された場合には認定を受けることができます。	2023年2月10日
1-4	協調投資による創薬ベンチャーへの出資の場合、認定VC以外の出資者の出資も、AMEDの補助金交付の基礎額となる認定VCによる出資額にカウントされますか。	認定VC以外の出資者の出資額はカウントされません。なお、フォロワーの認定VCの出資額をカウント対象とするかどうかは選択可能です。	2023年2月10日
<b>2. 応募要件・遵守事項等</b>			
2-1	納付義務について、「補助金の交付決定を受けてから1年以内に株式を売却した場合」とありますが、どの時点を起点として1年ですか。	初回は創薬ベンチャーを採択後初めて補助金を交付したとき、2回目以降はステージゲート通過後新たにAMEDから交付決定を受けたときを起点とします。	2023年2月10日
2-2	フォロワーの認定VCにも納付義務は課されますか。	リードの認定VCと同様、AMEDの補助金交付額算出の基礎となる認定VC出資額に含まれている場合、納付義務が発生します。	2023年2月10日
2-3	フォロワーの認定VCに納付義務が課された場合、認定は取り消されますか。	フォロワーの認定VCにも納付義務が課されますが、認定は取り消されません。	2023年2月10日
2-4	必須要件①の「創薬ベンチャーに対して特に質の高い支援」とはどのようなものでしょうか。	公募要領4. (2)に示す4つの評価項目において、非常に高い評価を獲得することを指します。	2023年3月2日
2-5	必須要件④⑤の「ハンズオンを行うメンバーであり投資の意思決定に対し専門的な助言を行うメンバー」はどのような人が該当しますか。	貴社において、投資の意思決定を行うメンバーに準ずる主要メンバーとして、投資の意思決定を行うメンバーへの助言を行い、ハンズオンを行う方となります。	2023年3月2日
2-6	必須要件⑤の「グローバルでの治験を行った経験、グローバルでの治験をハンズオン支援した経験等」での「グローバル経験」とは何を指しますか。	日本以外の国における経験を指します。特に米国を念頭において審査します。	2023年3月2日
<b>3. 審査方法・スケジュール等</b>			
3-1	ヒアリング審査（面接審査）の実施日は調整可能でしょうか。	ヒアリング審査（面接審査）の実施日の調整はお受けしておりません。	2023年2月10日
3-2	ヒアリング審査（面接審査）はオンラインで参加可能ですか。	ヒアリング審査の対象となりましたら連絡させていただきます。	2023年2月10日

No.	質問	回答 (AMED)	掲載日
3-3	必須要件の「投資の意思決定」とはどのレベルの意思決定を指しますか。	ジェネラルパートナーやパートナー等の、責任のある者が行う意思決定を想定しています。	2023年2月10日
3-4	必須要件①「1/3以上を創薬分野に投資していること」について、1/3の対象となる創薬分野にはどのようなものが含まれますか。	医薬品や再生医療等製品の開発に加え、医薬品や再生医療等製品のシーズを創出する技術（創薬プラットフォーム技術）など創薬に関する技術開発を対象とします。 なお、以下に例示する技術は対象外です。 ・医療機器/医療技術 ・DTx（治療用アプリ、VR） ・研究試薬開発、解析サービス、非臨床試験受託 ・臨床検査 ・診断薬開発 ・AI 等	2023年2月10日
3-5	必須要件①「1/3以上を創薬分野に投資していること」の「創薬分野」と、「創薬分野への出資を行うことに特化したファンド」の「創薬分野」の定義は同じですか。	同じです。	2023年2月10日
3-6	「創薬分野への出資を行うことに特化したファンド」の定義を教えてください。	基本的な考え方としては、当該ファンドのうちベンチャー企業への出資に用いる資金の100%を創薬分野に投資するファンドを想定していますが、当該ファンドを運用するメンバーなども含め総合的に判断いたします。	2023年2月10日
3-7	「創薬分野への出資を行うことに特化したファンド」は、運用期間が終了しているものも含まれますか。	含まれます。	2023年2月10日
3-8	「VCまたはファンドを新規に設立した場合」の「ファンド」の要件はありますか。	「VCまたはファンドを新規に設立した場合」の「ファンド」は、「創薬分野への出資を行うことに特化したファンド」である必要があります。	2023年2月10日
<b>4. 応募の手続き等</b>			
4-1	提案書類の差し替えは可能ですか。	締め切り前は差し替え可能です。締め切り後の差し替えは受け付けません。	2023年2月10日
4-2	申請の意思表示と問い合わせは別のメールにする必要はありますか。	別のメールで行ってください。別メールにし、それぞれ公募要領に記載の件名を記載して送信してください。	2023年2月10日
4-3	応募の受理メールが来ない場合はどうすれば良いですか。	公募締め切り後、1週間経過後もメール連絡が来ない場合は、メールにて問い合わせてください。	2023年2月10日
4-4	英語(もしくは他の言語)で申請が可能ですか。	申請書および申請書別添1～7は、日本語でご提出ください。その他の提案書類は、日本語もしくは英語でご提出ください。	2023年2月10日
4-5	申請書別添必須要件確認シートにおいて、必須要件①はどれか1つを選択するのでしょうか、もしくは複数選択可能でしょうか。	①-a、①-b、①-cにつきましては、該当するもの一つをお選びください。	2023年3月2日
<b>5. その他</b>			
5-1	創薬ベンチャー公募はいつ頃行われますか。	創薬ベンチャーエコシステム強化事業／創薬ベンチャー公募（第2回）は令和5年3月頃、創薬ベンチャー公募（第3回）は令和5年夏頃の公募開始を予定しています。それぞれの詳細は、後日公開実施される公募要領をご確認ください。	2023年2月10日